

東海北陸厚生局長 殿

国立大学法人岐阜大学医学部
附属病院長 岩間

国立大学法人岐阜大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	184人
--------	------

 (注)前年度の研修医の実績を記入すること
- 4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	350人	45人	367.0人	看護補助者	40人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	11人	3人	12.7人	理学療法士	12人	臨床検査技師	47人
薬剤師	33人	1人	33.5人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助産師	20人	1人	20.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	519人	36人	541.7人	臨床工学士	10人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	4人
歯科衛生士	3人	0人	3.0人	歯科技工士	2人	事務職員	133人
管理栄養士	9人	2人	10.5人	診療放射線技師	40人	その他の職員	23人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3. 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計数を記入すること。

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たりの平均入院患者数	485.3人	7.8人	493.1人
1日当たりの平均外来患者数	1,248.4人	69.4人	1,317.8人
1日当たりの平均調剤数			777.7剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を歴日で除した数を記入すること。
- 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ歴日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱い患者数

先進医療の種類	取扱患者数
実物大臓器立体モデルによる手術支援	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱い患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	3人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ペーチェット病	37人	・膿疱性乾癬	12人
・多発性硬化症	44人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・重症筋無力症	43人	・原発性胆汁性肝硬変	18人
・全身性エリテマトーデス	144人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	51人
・再生不良性貧血	15人	・混合性結合組織病	22人
・サルコイドーシス	83人	・原発性免疫不全症候群	9人
・筋萎縮性側索硬化症	22人	・特発性間質性肺炎	4人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	239人	・網膜色素変性症	3人
・特発性血小板減少性紫斑病	37人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	13人	・肺動脈性肺高血圧症	3人
・潰瘍性大腸炎	123人	・神経線維腫症	17人
・大動脈炎症候群	17人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	23人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	1人
・脊髄小脳変性症	28人	・ライゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	5人
・クローン病	67人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	2人	・脊髄性筋萎縮症	4人
・パーキンソン病関連疾患	64人	・球脊髄性筋萎縮症	5人
・アミロイドーシス	2人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	12人
・後縦靭帯骨化症	62人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	2人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	43人	・ミトコンドリア病	0人
・ウエゲナー肉芽腫症	8人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	11人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症	13人	・黄色靭帯骨化症	5人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害	55人
(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。		合計	1391人

(様式第10)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
▪ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	▪
▪ 広範囲顎骨支持型装置埋入手術	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪
▪	▪

(注)「施設基準等の種類」欄には業務報告を行う3年前の4月以降に健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供したものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。		
	<input type="checkbox"/> 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	10回		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	18 例	剖検率 7.3 %

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動	中村祐輔	消化器病態学	15,000,000 円	補委 文部科学省
2	次世代型電子カルテシステムを用いた医療の質改善のためのプロセス解析手法の開発	白鳥義宗	消化器病態学	1,200,000 円	補委 文部科学省
3	膵がんに対するGemcitabineの作用発現におけるHSP27の役割	安田一朗	消化器病態学	1,400,000 円	補委 文部科学省
4	トリプトファンによる肝脂肪化・脂肪肝炎発症のメカニズムに関する研究	大澤陽介	消化器病態学	1,950,000 円	補委 文部科学省
5	紫外線による大腸がん制御に関する研究	足立政治	消化器病態学	1,600,000 円	補委 文部科学省
6	肝癌幹細胞におけるmiRNAの解析:発癌予防と抑制そして転移抑制に向けて	末次 淳	消化器病態学	1,600,000 円	補委 文部科学省
7	ウイルス性肝疾患患者の食事・運動療法とアウトカム評価に関する研究	森脇久隆	消化器病態学	25,650,000 円	補委 厚生労働省
8	難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	森脇久隆	消化器病態学	400,000 円	補委 厚生労働省
9	ウイルス性肝炎における最新の治療法の標準化を目指す研究	森脇久隆	消化器病態学	2,000,000 円	補委 厚生労働省
10	がん化学予防の研究開発とその臨床応用に関する研究	清水雅仁	消化器病態学	2,000,000 円	補委 厚生労働省
11	次世代生命基盤技術を用いたB型肝炎制圧のための創薬研究	清水雅仁	消化器病態学	3,000,000 円	補委 厚生労働省
12	核レチノイド受容体蛋白を分子標的としたがん化学予防に関する研究	森脇久隆	消化器病態学	150,000 円	補委 脂溶性ビタミン研究会
13	トリプトファンによる非アルコール性肝脂肪化のメカニズムに関する研究	大澤陽介	消化器病態学	3,000,000 円	補委 公益財団法人武田科学振興
14	L-Tryptophan-mediated enhancement of susceptibility to nonalcoholic fatty liver disease is dependent on the mammalian target of rapamycin.	大澤陽介	消化器病態学	1,000,000 円	補委 有馬・近藤記念医学財団
15	悪性黒色腫における生理活性脂質の抗がん剤耐性調節機序の解明	清島真理子	皮膚病態学	3,640,000 円	補委 文部科学省
16	がん微小環境のメタボリックストレス応答を標的とする難治性がん治療のための創薬研究	森重健一郎	産科婦人科学	14,500,000 円	補委 文部科学省
17	計算解剖モデルの構築 -正常人体における計算解剖モデルの構築-	藤田 廣志	知能イメージ情報分野	18,200,000 円	補委 文部科学省
18	知的画像処理の活用による高度歯科遠隔診断システムの研究開発(SCOPE)	藤田 廣志	知能イメージ情報分野	2,500,000 円	補委 総務省
19	体幹部代謝アトラス構築と経時変化を自動追跡するがん治療効果の診断支援	原 武史	知能イメージ情報分野	1,500,000 円	補委 文部科学省
20	大規模医用画像データベースの学習と類似画像検索に基づく汎用臓器抽出手順の開発	周 向榮	知能イメージ情報分野	1,300,000 円	補委 文部科学省
21	ヒト歯髄由来組織幹細胞のステムネス性維持とiPS細胞の良質化	柴田敏之	歯科口腔外科	4,900,000 円	補委 日本学術振興会
22	東南アジアの喫タバコ習慣が口腔粘膜の遺伝子メチル化異常に及ぼす影響	柴田敏之	歯科口腔外科	2,400,000 円	補委 日本学術振興会
23	4NQO誘発ラット舌発癌モデルによる早期メチル化異常と脱メチル化による影響の解析	加藤恵三	歯科口腔外科	700,000 円	補委 日本学術振興会
24	4NQO誘発ラット舌発癌モデルにおけるヒストン修飾の解析	米本和弘	歯科口腔外科	900,000 円	補委 日本学術振興会
25	動物由来物質・因子を使わない安全なヒト歯髄由来幹細胞の樹立とiPS細胞化の検討	川口知子	歯科口腔外科	1,000,000 円	補委 日本学術振興会
26	ヒト歯髄細胞の遺伝子発現プロファイルとiPS細胞誘導効率の検証	畠山大二郎	歯科口腔外科	1,400,000 円	補委 日本学術振興会
27	高齢者のヒト歯髄細胞からiPS細胞を効率よく樹立するための基礎的検討	飯田一規	歯科口腔外科	910,000 円	補委 日本学術振興会
28	ヒトiPS細胞の誘導効率を高める新規初期化因子の発見	玉置也剛	歯科口腔外科	1,560,000 円	補委 日本学術振興会
29	多列検出器時代の低被ばく高画質インテリジェント造影CTシステムの開発	兼松雅之	放射線部	3,250,000 円	補委 文部科学省
30	肝表面性状解析による肝線維化コンピュータ自動支援診断アルゴリズムの構築	五島 聡	放射線科	3,510,000 円	補委 文部科学省
31	非侵襲的フレームレス頭部定位放射線治療の適応拡大のための新規治療法の開発	大宝和博	放射線医学	650,000 円	補委 文部科学省
32	緑内障の治療予後改善による失明の予防	山本哲也	眼科学	900,000 円	補委 文部科学省
33	メモリーTリンパ球の生存/維持を制御するNotchシグナルの標的同一とその調節	前川洋一	寄生虫	1,400,000 円	補委 文部科学省
34	旋毛虫分泌タンパク質による免疫抑制作用の免疫学的および構造生物学的解析	長野 功	寄生虫	1,300,000 円	補委 文部科学省
35	タイ肝吸虫感染による胆管癌の新規腫瘍マーカーの同定及び検出系の確立	呉 志良	寄生虫	1,100,000 円	補委 文部科学省
36	免疫制御における樹状細胞Notchシステムの役割	前川洋一	寄生虫	1,000,000 円	補委 先進医薬研究振興財団
37	リーシュマニア原虫病原性発現機構の解明	前川洋一	寄生虫	4,000,000 円	補委 上原記念生命科学財団

38	脳虚血への自家移植を目指したヒト脂肪組織由来幹細胞の分離培養法の確立	吉村紳一	脳神経外科学	5,200,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
39	血小板凝集能・血小板活性化マーカーを用いた抗血小板療法モニタリング	榎本由貴子	脳神経外科学	1,950,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
40	主幹動脈狭窄症における炎症性サイトカインの動脈硬化進展作用の解析	岩間 亨	脳神経外科学	3,640,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
41	脳腫瘍の階層・多様性の解明	副田明男	脳神経外科	3,640,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
42	急性期脳梗塞に対する新規抗炎症療法の研究と開発	江頭裕介	脳神経外科	1,820,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
43	プロテオミクスとプロテインアレイを用いたアルツハイマー病に関わる自己抗体の検索	犬塚 貴	神経内科・老年学分野	1,700,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
44	自己免疫介在性脳炎に関する新規抗神経抗体・抗血管内皮抗体の同定と診断・治療への応用	木村暁夫	神経内科・老年学分野	900,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
45	運動により変化するガングリオシド変換酵素種の同定とアルツハイマー病への応用	林 祐一	神経内科・老年学分野	1,300,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
46	フアル病(特発性両側性大脳基底核・小脳歯状核石灰化症)の分子病態の解明	犬塚 貴	神経内科・老年学分野	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
47	希少難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究	犬塚 貴	神経内科・老年学分野	800,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
48	スモンに関する調査研究	犬塚 貴	神経内科・老年学分野	700,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
49	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	犬塚 貴	神経内科・老年学分野	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
50	内因性GLP-1の虚血心筋保護作用の分子メカニズム解明とその臨床的重要性の研究	服部有博	第2内科	910,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
51	エリスロポイエチンによるCOPD再生治療	大野 康	呼吸病態学	780,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
52	筋線維芽細胞にアギシようによる大型心筋梗塞後の左室リモデリング治療	竹村元三	循環呼吸制御学	5,200,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
53	ニコランジルを用いた慢性腎臓病合併冠動脈疾患患者に対する総合的治療法の開発	西垣和彦	第2内科	5,330,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
54	超音波と光干渉波を組み合わせた新しい冠動脈不安定プラーク診断装置の開発	川崎雅規	第2内科	4,680,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
55	第三の名農政幹細胞Muse細胞を用いた心筋再生による心不全治療法開発に関する研究	湊口信也	第2内科	4,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立大学法人 名古屋大学
56	背骨像指向性エリスロポエチンとG-CSF誘導骨髄幹細胞ハイブリッド再生心不全治療法	湊口信也	循環病態学	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	公益財団法人 先進医療振興財団
57	ウサギ心筋梗塞をもちいたMuse細胞移植の有用性と安全性に関する研究	湊口信也	循環病態学	17,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人 医薬基盤研究所
58	発症予防を目指したアルツハイマー病の病態解明	中川敏幸	神経生物	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
59	大脳局所電場電位のβγシンクロニーによる上肢運動時のサル・ヒトの脳機能比較	川島卓	神経生物	1,600,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
60	生活習慣病によるアルツハイマー病発症機構脳解明	太田和徳	神経生物	1,400,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
61	アルツハイマー病原因物質であるアミロイド-β産生に及ぼすケルセチンの効果と作用機構の解明	中川敏幸	神経生物	6,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	農林水産省
62	平成24年度医療・介護等関連分野における規制改革・産業創出調査研究事業「緊急医療体制の構築に資する車載ITシステムの導入に向けた調査改革」	小倉真治	救急・災害医学分野	17,946,511	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	経済産業省
63	平成24年度ICT街づくり推進事業	小倉真治	救急・災害医学分野	57,977,504	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	総務省
64	母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究	近藤直実	小児病態学	500,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
65	タンデムマス導入による新生児マススクリーニング胎生の整備と質的向上に関する研究	深尾敏幸	小児病態学	200,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
66	新しい新生児代謝スクリーニング時代に適応した先天代謝異常症の診断基準作成と治療ガイドラインの作成および新たな薬剤開発に向けた調査研究	深尾敏幸	小児病態学	3,500,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
67	遺伝子修復異常症(Bloom症候群, Rothmund-Thomson症候群, RAPADILINO症候群, Baller-Gerold症候群)の実態調査, 早期診断法の確立に関する研究	金子英雄	小児病態学	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
68	インターロイキン1受容体関連キナーゼ4(IRAK4)欠損症の全国症例数把握及び早期診断スクリーニング・治療法開発に関する研究	大西秀典	小児病態学	10,400,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
69	原発性免疫不全症候群に関する調査研究	近藤直実	小児病態学	1,500,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
70	小児期の食物アレルギーの新しい診断法・管理法の確立と治療法の開発に関する研究	近藤直実	小児病態学	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
71	気管支喘息に対する喘息死の予防や自己管理手法の普及に関する研究	近藤直実	小児病態学	1,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
72	自己炎症疾患とその類縁疾患に対する新規診療基盤の確立	近藤直実	小児病態学	2,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
73	リンパ管腫症の全国症例把握及び診断・治療法の開発に関する研究	小関道夫	小児病態学	3,850,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
74	気管支ぜん息発症予防のための客観的かつテーラーメイド的予知のスクリーニング基準の確立	近藤直実	小児病態学	5,700,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人 環境保全機構
75	牛乳アレルギーなどの新規治療開発と予知予防	近藤直実	小児病態学	1,600,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	糧食研究会
76	新規に発見されたインターロイキン18阻害剤等によるアレルギー免疫病態解析治療開発	加藤善一郎	小児病態学	1,300,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
77	遺伝・環境要因の相互作用がアレルギー発症に及ぼす影響	松井永子	小児病態学	1,430,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省

78	抗体産生不全症における臨床経過の多様性とその病態解析—新規治療法の基礎的検討—	金子英雄	小児病態学	1,430,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
79	Toll-インターロイキン1受容体ドメインの結合特異性を利用した免疫抑制法の開発	大西秀典	小児病態学	1,170,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
80	MRP1モジュレーターのスクリーニング解析方法の確立	小関道夫	小児病態学	1,950,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
81	アレルギー発症増悪における体内時計遺伝子と環境相互の分子遺伝学的解析と臨床展開	近藤直実	小児病態学	2,080,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
82	ケトン体代謝とその異常症の解析—SCOT発現調節機構の解明を中心にして—	深尾敏幸	小児病態学	1,950,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
83	Alu配列と遺伝性疾患の病態に関する研究	深尾敏幸	小児病態学	5,590,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
84	レ-アスパラギナーゼによる薬剤性急性膵炎に対する試験管内疾患モデルの開発	船戸道徳	小児病態学	2,080,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
85	悪性軟部腫瘍に対する新たな分子標的治療法の開発	大野貴敏	整形外科	22,000,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
86	コンドロイチン硫酸合成酵素に着目した変形性膝関節症	松本 和	整形外科	1,400,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
87	変形性関節症の進行を防ぐ小分子及びshRNAの同定	小川寛泰	整形外科	10,500,000	円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合には「委」に「レ」をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計
10件
合計
87件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題 命	発表者氏名	所 属 部 門
1	Leukemia Lymphoma 2012;53:247-253.	A phase II study of rituximab combined with THP-COP regimen as a first-line therapy for patients with indolent B-cell lymphoma.	Tsurumi H	消化器病態学
2	J Clin Biochem Nutr 2012;51:185-188.	Combination of proton pump inhibitor and rebamipide, a free radical scavenger, promotes artificial ulcer healing after endoscopic submucosal dissection with dissection size > 40mm.	Araki H	消化器病態学
3	Am J Gastroenterol 2012; 107: 397-404.	Endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration biopsy for diagnosis of lymphoproliferative disorders: Feasibility of immunohistological, flow cytometric, and cytogenetic assessments.	Yasuda I	消化器病態学
4	Hepato Res 2012;42:68- 75.	Novel scoring system as a useful model to predict the outcome of patients with acute liver failure: Application to indication criteria for liver transplantation.	Naiki T	消化器病態学
5	Hepato Res 2012; 42: 1241-1247	Combination of acyclic retinoid with branched-chain amino acids inhibits xenograft growth of human hepatoma cells in nude mice.	Shimizu M	消化器病態学
6	Carcinogenesis 2012; 33: 2499-2506.	Preventive effects of branched-chain amino acid supplementation on the spontaneous development of hepatic preneoplastic lesions in C57BL/KsJ-db/db obese mice.	Terakura D	消化器病態学
7	Curr Cancer Drug Targets 2012;12:1119-1128.	Role of acyclic retinoid in the chemoprevention of hepatocellular carcinoma: Basic aspects, clinical applications, and future prospects.	Shimizu M	消化器病態学
8	J Carcinog 2012;11:11.	Acyclic retinoid in chemoprevention of hepatocellular carcinoma: targeting phosphorylated retinoid X receptor- α for prevention of liver carcinogenesis.	Shimizu M	消化器病態学
9	Int J Mol Sci 2012;13:579- 595.	Nutraceutical approach for preventing obesity-related colorectal and liver carcinogenesis.	Shimizu M	消化器病態学
10	Int J Hematol 2012;96:674-678.	Cerebriform variant type of T cell prolymphocytic leukemia with complex karyotype including an additional segment at 1p36.1.	Kasahara S	消化器病態学
11	Anticancer Res 2012;32:31-38.	The cyan fluorescent protein nude mouse as a host for multicolor-coded imaging models of primary and metastatic tumor microenvironments.	Suetsugu A	消化器病態学
12	Anticancer Res 2012 ;4:1175-1180.	Imageable Metastasis Occuring in Transgenic GFP Mice Orthotopically Implanted with Human-Patient Primary Pancreatic Cancer Specimens.	Suetsugu A	消化器病態学
13	J Cell Biochem 2012 ;7:2290-2295.	Multi-color pallet of fluorescent proteins for imaging the tumor microenvironment of orthotopic tumorgraft mouse models of clinical pancreatic cancer specimens.	Suetsugu A	消化器病態学
14	Anticancer Res 2012 ;8:3063-3067.	Non-invasive Fluorescent-protein Imaging of Orthotopic Pancreatic-cancer-patient Tumorgraft Progression in Nude Mice.	Suetsugu A	消化器病態学
15	Ann Hematol 2012;91:705- 714.	Serum soluble interleukin-2 receptor (sIL-2R) level is associated with the outcome of patients with diffuse large B cell lymphoma treated with R-CHOP regimens.	Goto N	消化器病態学

小計
15件

16	Leuk Lymphoma 2012;53:1494-1500.	Serum soluble CD27 level is associated with outcome in diffuse large B-cell lymphoma patients treated with R-CHOP.	Goto N	消化器病態学
17	Dig Endosc 2012;24:386.	Infected mediastinal cyst following endoscopic ultrasonography-guided fine-needle aspiration with rupture into the esophagus.	Iwashita T	消化器病態学
18	Clin Gastroenterol Hepatol 2012;10:316-322.	Use of samples from endoscopic ultrasound-guided 19-gauge fine-needle aspiration in diagnosis of autoimmune pancreatitis.	Iwashita T	消化器病態学
19	Cancer Sci 2012;103:951-958.	Suppression of azoxymethane-induced colonic preneoplastic lesions in rats by 1-methyltryptophan, an inhibitor of indoleamine 2,3-dioxygenase.	Ogawa K	消化器病態学
20	Oncol Lett 2012;4:546-550.	(-)-Epigallocatechin gallate inhibits the expression of indoleamine 2,3-dioxygenase in human colorectal cancer cells.	Ogawa K	消化器病態学
21	Oncol Rep 2012;27:935-939.	UVC irradiation suppresses platelet-derived growth factor-BB-induced migration in human pancreatic cancer cells.	Kawaguchi J	消化器病態学
22	Mol Cancer 2012;11:45.	Cisplatin and ultra-violet-C synergistically down-regulate receptor tyrosine kinases in human colorectal cancer cells.	Kawaguchi J	消化器病態学
23	Nutr Cancer 2012;64:72-79.	Preventive effects of curcumin on the development of azoxymethane-induced colonic preneoplastic lesions in male C57BL/KsJ-db/db obese mice.	Kubota M	消化器病態学
24	Cancer Lett 2012;323:215-222.	Synergistic growth inhibition of human hepatocellular carcinoma cells by acyclic retinoid and GW4064, a farnesoid X receptor ligand.	Ohno T	消化器病態学
25	Leukemia Lymphoma 2012;53:1143-1145.	Indoleamine 2,3-dioxygenase expression and serum kynurenine concentrations in patients with diffuse large B-cell lymphoma.	Ninomiya S	消化器病態学
26	Molecules 2012;17:3202-3242.	Cancer chemoprevention by carotenoids.	Tanaka T	消化器病態学
27	Carcinogenesis 2012;33:702-707.	Monosodium glutamate-induced diabetic mice are susceptible to azoxymethane-induced colon tumorigenesis.	Hata K	消化器病態学
28	J Cancer Res Clin Oncol 2012; 138: 1259-1270.	Challenging the effectiveness of green tea in primary and tertiary cancer prevention.	Fujiki H	消化器病態学
29	Hepatol Res 2012;42:621-626.	Guidelines on nutritional management in Japanese patients with liver cirrhosis from the perspective of preventing hepatocellular carcinoma.	Suzuki K	消化器病態学
30	Hepatol Res 2012;42:523-542.	Guideline on the use of new anticancer drugs for the treatment of Hepatocellular Carcinoma 2010 update.	Kaneko S	消化器病態学
31	Sci Rep 2012;2:367.	High susceptibility to lipopolysaccharide-induced lethal shock in encephalomyocarditis virus-infected mice.	Ohtaki H	消化器病態学
32	Annals of Hematology 2012;91:1139-1141.	Extravascular hemolytic attack after eculizumab therapy for paroxysmal nocturnal hemoglobinuria.	Tomita A	消化器病態学
33	Gastrointest Endosc 2012;75:362-372.	A multicenter, prospective, randomized study of selective bile duct cannulation performed by multiple endoscopists: the BIDMEN study.	Kawakami H	消化器病態学
34	Gastrointest Endosc 2012;76:84-92.	Comparison of partially covered nitinol stents with partially covered stainless stents as a historical control in a multicenter study of distal malignant biliary obstruction: the WATCH study.	Isayama H	消化器病態学

35	Handbook of Growth and Growth Monitoring in Health and Disease	Impairment of Body Growth in Mucopolysaccharidoses	Tomatsu S, Montaño AM, Oikawa H, Giugliani R, Harmatz P, Smith M, Suzuki Y, and Orii T.	MEDC
36	Research and Reports in Endocrine Disorders	Current and emerging treatments and surgical interventions for Morquio A syndrome	Tomatsu S, Mackenzie WG, Theroux MC, Mason RW, Thacker MM, Shaffer TH, Montaño AM, Rowan D, Sly W, Alméjida-Díaz CJ, Barrera LA, Chinen Y, Yasuda E, Ruhnke K, Suzuki Y, Orii T	MEDC
37	Molecular Genetics and Metabolism	Long-term efficacy of hematopoietic stem cell transplantation on brain involvement in patients with mucopolysaccharidosis type II: A nationwide survey in Japan	Tanaka A, Okuyama T, Suzuki Y, Sakai N, Takakura H, Sawada T, Tanaka T, Otomo T, Ohashi T, Ishige-Wada M, Yabe H, Ohura T, Suzuki N, Kato K, Adachi S, Kobayashi S, Mugishima H, Kato S	MEDC
38	Arthritis Rheum (2012)	Myositis-specific anti-155/140 autoantibodies target transcriptional intermediary factor 1 family proteins	Seishima M	皮膚科
39	J Dermatol (2012)	Adult-onset Still's disease with dermatomyositis-like eruption	Kanoh H	皮膚科
40	J Dermatol (2012)	Three siblings with systemic lupus erythematosus	Shu E	皮膚科
41	Acta Derm Venereol (2012)	<i>Rickettsia africae</i> infection in a Japanese traveller with many tick bites	Fujisawa T	皮膚科
42	J Dermatol (2012)	Primary localized cutaneous nodular amyloidosis that appeared in a patient with severe atopic dermatitis	Fujisawa T	皮膚科
43	Ther Apher Dial (2012)	Adsorptive depletion of CD14(+) CD16(+) proinflammatory monocyte phenotype in patients with generalized pustular psoriasis with psoriatic arthritis	Fujisawa T	皮膚科
44	Acta Derm Venereol (2012)	Time-course of the change in the titre of antibodies against type VII collagen in a patients with epidermolysis bullosa acquisita	Sato M	皮膚科

小計
10件

45	Med Mol Morphol (2012)	Cell biological chracterization of a multidomain adaptor protein, ArgBP2, in epithelial NMuMg cells, and identification of a novel short isoform	Murase K	皮膚科
46	皮膚科の臨床 (2012)	治療前後の血清中TNF- α 濃度を測定した multicentric reticulohistiocytosisの1例	清島真理子	皮膚科
47	皮膚科の臨床 (2012)	血清TARC/CCL17値が臨床症状と関連したnon-episodic angioedema with eosinophilia	加納宏行	皮膚科
48	皮膚科の臨床 (2012)	犬咬傷後に生じた <i>Mycobacterium chelonae</i> 皮膚感染症の1例	奥村陽子	皮膚科
49	日本小児皮膚科学会雑誌 (2012)	単純型表皮水疱症の孤発例	藤澤智美	皮膚科
50	皮膚科の臨床 (2012)	肛囲に限局したHailey-Hailey病	藤澤智美	皮膚科
51	日本皮膚外科学会雑誌	眼瞼部基底細胞癌の3例	澁谷佳直	皮膚科
52	皮膚科の臨床 (2012)	メルケル細胞ポリオーマウイルスが検出されたメルケル細胞癌の3例	澁谷佳直	皮膚科
53	J Oncol	Integrin Inhibitors as a Therapeutic Agent for Ovarian Cancer.	Morishige K-I	産科婦人科学
54	Health Economics Review	A cost-benefit analysis on the specialization in departments of obstetrics and gynecology in Japan	Morishige K-I	産科婦人科学
55	日本放射線技術学会雑誌	新しい輝尽性蛍光板を用いた位相イメージングによるエッジ強調効果の評価	藤田広志, 他3名	知能イメージ情報分野
56	Computerized Medical Imaging and Graphics	Automatic localization of solid organs on 3D CT images by a collaborative majority voting decision based on ensemble learning	X.Zhou, 他6名	知能イメージ情報分野
57	Proc. of SPIE Medical Imaging 2012	Automatic organ segmentation on torso CT images by using content-based image retrieval	X.Zhou, 他6名	知能イメージ情報分野
58	Proc. of SPIE Medical Imaging 2012	A new screening pathway for identifying asymptomatic patients using dental panoramic radiographs	X.Zhou, 他11名	知能イメージ情報分野
59	Proc. of SPIE Medical Imaging 2012	Automated scheme for measuring mandibular cortical thickness on dental panoramic radiographs for osteoporosis screening	T.Hara, 他9名	知能イメージ情報分野
60	Proc. of SPIE Medical Imaging 2012	Improved approach using combined nodule detection and hybrid FP reduction	H.Fujita, 他5名	知能イメージ情報分野
61	Proc. of SPIE Medical Imaging 2012	An application to pulmonary emphysema classification based on model of texton learning by sparse representation	X.Zhou, 他8名	知能イメージ情報分野
62	Proc. of SPIE Medical Imaging 2012	User-friendly tools on hand-held devices for observer performance study	T.Hara, 他8名	知能イメージ情報分野
63	Proc. of the 25th International Symposium on Computer-Based Medical Systems	Automated microaneurysm detection method based on double-ring filter and feature analysis in retinal fundus images	H.Fujita, 他4名	知能イメージ情報分野
64	Radiological Physics and Technology	Computerized detection of lung nodules by CT for radiologic technologists in preliminary screening	T.Hara, 他6名	知能イメージ情報分野
65	Proc. of 11the International Workshop	Correspondence among subjective and objective similarities and pathologic types of breast masses on digital mammography, Breast Imaging	H.Fujita, 他6名	知能イメージ情報分野
66	International Journal of Computer Technology and Applications	Image interpretation system for informed consent to patients by use of a skeletal tracking	H.Fujita, 他4名	知能イメージ情報分野
67	医用画像情報学会雑誌	高分解能乳房専用CTに関する初期的検討: 実験用装置の開発と評価	藤田広志, 他5名	知能イメージ情報分野
68	Proc. of the 34th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC'12)	Glaucoma risk assessment based on clinical data and automated nerve fiber layer defects detection	T.Hara, 他5名	知能イメージ情報分野

小計
24件

69	Journal of Digital Imaging	Computer-aided diagnosis for detection of lacunar infarcts on MR images: ROC analysis of radiologists' performance	T.Hara, 他7名	知能イメージ情報分野
70	Medical Imaging Technology	複数のガボールフィルタを用いた乳房X線画像における乳腺構造解析と構築の乱れの検出	藤田広志, 他3名	知能イメージ情報分野
71	Medical Imaging Technology	円筒型フィルタと肺の構造解析による胸部CT画像からの結節検出	藤田広志, 他3名	知能イメージ情報分野
72	Radiological Physics and Technology	Basic concepts and development of an all-purpose computer interface for ROC/FROC observer study	T.Hara, 他3名	知能イメージ情報分野
73	Radiological Physics and Technology	Usefulness of presentation of similar images in the diagnosis of breast masses on mammograms: Comparison of observer performances in Japan and the USA	H.Fujita, 他5名	知能イメージ情報分野
74	Radiological Physics and Technology	Automated adjustment of display conditions in brain MR images: Diffusion-weighted MRIs and apparent diffusion coefficient maps for hyperacute ischemic stroke	H.Fujita, 他3名	知能イメージ情報分野
75	Proc. of IS&T/SPIE Symposium on Electronic Imaging 2013	Local binary pattern statistics feature for reduced reference image quality assessment	H.Fujita, 他5名	知能イメージ情報分野
76	International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery	Fast lung nodule detection in chest CT images using cylindrical nodule-enhancement filter	H.Fujita, 他1名	知能イメージ情報分野
77	Magn Reson Med Sci	Diffusion/Perfusion MR Imaging of the Liver: Practice, Challenges, and Future	兼松雅之	放射線部
78	J Magn Reson Imaging	Gd-EOB-DTPA-enhanced MR imaging: Prediction of hepatic fibrosis stages using liver contrast enhancement index and liver-to-spleen volumetric ratio	五島 聡	放射線科
79	Jpn J Radiol	Spontaneous infarction of a Warthin's tumor: imaging findings simulating malignancy	加藤博基	光学医療診療部
80	Eur J Radiol	Mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma of the salivary glands: MR imaging findings including diffusion-weighted imaging	加藤博基	光学医療診療部
81	J Comput Assist Tomogr	CT findings of Kawasaki disease with cervical lymphadenopathy	加藤博基	光学医療診療部
82	J Neuro-oncol	Significance of target location relative to the depth from the brain surface and high-dose irradiated volume in the development of brain radionecrosis after micromultileaf collimator-based stereotactic radiosurgery for brain metastases	大宝和博	放射線医学
83	J Cancer Res Clin Oncol	Clinical outcomes of single or oligo-fractionated stereotactic radiotherapy for head and neck tumors using micromultileaf collimator-based dynamic conformal arcs	大宝和博	放射線医学
84	Radiother Oncol	Clinical comparison of positional accuracy and stability between dedicated versus conventional masks for immobilization in cranial stereotactic radiotherapy using 6-degree-of-freedom image guidance system-integrated platform	大宝和博	放射線医学
85	Br J Radiol	Consideration of optimal isodose surface (IDS) selection for target coverage in micro-multileaf collimator-based stereotactic radiotherapy for large cystic brain metastases: Comparison of 90, 80, and 70% isodose surface-based planning	大宝和博	放射線医学

小計
17件

86	Br J Radiol	The relation between various conformity indices and the influence of the target coverage difference in prescription isodose surface on these values in intracranial stereotactic radiosurgery	大宝和博	放射線医学
87	Br J Radiol	Characterisation of dose distribution in linear accelerator-based intracranial stereotactic radiosurgery with the dynamic conformal arc technique: Consideration of the optimal method for dose prescription and evaluation	大宝和博	放射線医学
88	Asia Pac J Clin Oncol	Palliative radiotherapy for patients with tracheobronchial and esophageal stenosis due to intrathoracic malignant tumors	田中秀和	放射線科
89	Invest Ophthalmol Vis Sci.	Posture-induced intraocular pressure changes in eyes with open-angle glaucoma, primary angle closure with or without glaucoma medications and control eyes.	澤田 明	眼科学
90	Exp Eye Res.	Confirmation of TBK1 duplication in normal tension glaucoma	川瀬和秀	眼科学
91	J Glaucoma	Correlation between extent of preexisting organic angle closure and long-term outcome after laser peripheral iridotomy in eyes with primary angle closure.	澤田 明	眼科学
92	J Infect Chemother	Discrepancy of in-vitro data and clinical efficacy of micafungin against <i>Candida tropicalis</i>	望月清文	眼科
93	J Infect Chemother	Identification and sensitivity of two rare fungal species isolated from two patients with <i>Fusarium</i> keratomycosis.	望月清文	眼科
94	Graefes Arch Clin Experimental Ophthalmol	Effects of trabeculectomy on pressure-induced intraocular pressure changes over time.	澤田 明	眼科学
95	Mol Cancer Ther.	Dll4-Fc, an inhibitor of Dll4-Notch signaling, suppresses liver metastasis of small cell lung cancer cells through the downregulation of the NF-kappa-B activity.	Kuramoto T, Goto H, Mitsuhashi A, Tabata S, Ogawa H, Uehara H, Saijo A, Kakiuchi S, Maekawa Y, Yasutomo K, Hanibuchi M, Akiyama S, Sone S, Nishioka Y.	寄生虫
96	Tumour Biol	Platelet-derived growth factor may be a potential diagnostic and prognostic marker for cholangiocarcinoma.	Boonjaraspi nyo S, Boonmars T, Wu Z, Loilome W, Sithithawor n P, Nagano I, Pinlaor S, Yongvanit P, Nielsen PS, Pairojkul C, Khuntikeo N.	寄生虫

小計
11件

97	Tumour Biol.	Alteration of galectin-1 during tumorigenesis of <i>Opisthorchis viverrini</i> infection-induced cholangiocarcinoma and its correlation with clinicopathology.	Wu Z, Boonmars T, Nagano I, Boonjaraspi nyo S, Pinlaor S, Pairojkul C, Chamgramol Y, Takahashi Y.	寄生虫
98	AJNR Am J Neuroradiol 33: 308-313, 2012	Visualization of internal carotid artery atherosclerotic plaques in symptomatic and asymptomatic patients: a comparison of optical coherence tomography and intravascular ultrasound.	Yoshimura S	脳神経外科学
99	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2012 Aug 29. [Epub ahead of print]	Selection of carotid artery stenting or endarterectomy based on magnetic resonance plaque imaging reduced periprocedural adverse events.	Yoshimura S	脳神経外科学
100	Neuroscience 220: 302-312, 2012	A Rho kinase (ROCK) inhibitor, fasudil, prevents matrix metalloproteinase-9-related hemorrhagic transformation in mice treated with tissue plasminogen activator.	Ishiguro M	脳神経外科
101	J Clin Neurosci 19: 170- 173, 2012	Continuous growth of remote intracerebral haematoma following angiographically successful endovascular embolization of ruptured cerebral aneurysms.	Egashira Y	脳神経外科
102	Ann Vasc Surg 26: 731.e9- e13, 2012	Stepwise revascularization by carotid endarterectomy after balloon angioplasty for symptomatic severe carotid artery stenosis.	Egashira Y	脳神経外科
103	Brain Res 1461: 87-95, 2012	The conditioned medium of murine and human adipose-derived stem cells exerts neuroprotective effects against experimental stroke model.	Egashira Y	脳神経外科
104	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2012 Jul 17. [Epub ahead of print]	Efficacy and limitations of multimodal endovascular revascularization other than clot retrieval for acute stroke caused by large-vessel occlusion.	Egashira Y	脳神経外科
105	J Neurosurg 2012 Dec 14. [Epub ahead of print]	Ultra-early endovascular embolization of ruptured cerebral aneurysm and the increased risk of hematoma growth unrelated to aneurysmal rebleeding.	Egashira Y	脳神経外科
106	Int J Mol Sci 13: 4968- 4981, 2012	2-Decenoic acid ethyl ester, a compound that elicits neurotrophin-like intracellular signals, facilitating functional recovery from cerebral infarction in mice.	Tanaka Y	脳神経外科
107	N Engl J Med 366: 2474- 2482, 2012	The natural course of unruptured cerebral aneurysms in a Japanese cohort.	UCAS Japan	脳神経外科
108	脳外誌 21: 405-410, 2012	頭蓋内脳主幹動脈狭窄症に対する血管内治療.	吉村紳一	脳神経外科学
109	脳卒中 34: 107-109, 2012	血管内治療の適応診断における画像診断について.	吉村紳一	脳神経外科学
110	J Alzheimers Dis.	Antibodies against the Tom40 subunit of the translocation of the outer mitochondrial membrane complex and cognitive impairment in Alzheimer disease.	木村暁夫	神経内科・老年学 分野
111	J Stroke Cerebrovasc Dis.	Elevated anti-heat shock protein 60 antibody titer is related to white matter hyperintensities.	木村暁夫	神経内科・老年学 分野

小計
15件

112	Curr Neurovasc Res.	Anti-endothelial cell antibodies in patients with cerebral small vessel disease.	木村暁夫	神経内科・老年学分野
113	Neurology	Peduncular hallucination in brainstem encephalitis drawn by a patient.	林 祐一	神経内科・老年学分野
114	Internal Med.	Late-onset patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis in Japan have a higher progression rate of ALSFRS-R at time of diagnosis.	田中優司	神経内科・老年学分野
115	J Neurol.	Is there delayed gastric emptying in patients with multiple system atrophy? An analysis using the ¹³ C-acetate breath test.	田中優司	神経内科・老年学分野
116	Int J Cardiol.	Cardiomyocyte apoptosis in the failing heart—A critical review from definition and classification of cell death.	竹村元三	循環呼吸制御学
117	Blood Press.	Comparative effect of candesartan and amlodipine, and effect of switching from valsartan, losartan, telmisartan and olmesartan to candesartan, on early morning hypertension and heart rate.	湊口信也	循環病態学
118	Am J Pathol.	Resveratrol reverses remodeling in hearts with large, old myocardial infarctions through enhanced autophagy—activating AMP kinase pathway.	金森寛充	病態情報解析医学
119	Cardiovasc Ultrasound.	motion of left atrial appendage as a determinant of thrombus formation in patients with a low CHADS2 score receiving warfarin for persistent nonvalvular atrial fibrillation.	小野浩司	循環病態学
120	Anticancer Res.	A randomized controlled non-inferiority study comparing the antiemetic effect between intravenous granisetron and oral azasetron based on estimated 5-HT3 receptor occupancy.	遠渡純輝	呼吸病態学
121	Cardiovasc Res.	Prior starvation mitigates acute doxorubicin cardiotoxicity through restoration of autophagy in affected cardiomyocytes.	川口智則	循環病態学
122	Circ J.	Effect of pitavastatin on cardiac structure and function and on prevention of atrial fibrillation in elderly hypertensive patients: a prospective study of 2-years' follow-up.	割田俊一郎	循環病態学
123	Cardiovasc Ultrasound.	Comparison between integrated backscatter intravascular ultrasound and 64-slice multi-detector row computed tomography for tissue characterization and volumetric assessment of coronary plaques.	八巻隆彦	循環病態学
124	Cardiovasc Ultrasound.	Relationship among coronary plaques compliance, coronary risk factors and tissue characteristics evaluated by integrated backscatter intravascular ultrasound.	石原義之	循環病態学
125	Biol Pharm Bull.	Tetomilast attenuates elastase-induced pulmonary emphysema through inhibition of oxidative stress in rabbits.	布林白拉	呼吸病態学
126	Europace.	In-hospital monitoring of T-wave alternans in a case of amiodarone-induced torsade de pointes: clinical and methodologic insights.	川口智則	循環病態学
127	J Cardiol.	Left atrial appendage emptying fraction assessed by a feature-tracking echocardiographic method is a determinant of thrombus in patients with nonvalvular atrial fibrillation.	岩間 眞	循環病態学

小計
16件

128	Europace.	Sudden reversible pacemaker failure in a patient with cardiac sarcoidosis: an unfortunate case of ventricular septal pacing.	高杉信寛	第2内科
129	Europace.	'False-positive' intrathoracic impedance monitor alarm caused by amiodarone-induced hypothyroidism in a patient with cardiac resynchronization therapy-defibrillator.	中島 孝	循環病態学
130	Br J Pharmacol.	Both stimulation of GLP-1 receptors and inhibition of glycogenolysis additively contribute to a protective effect of oral miglitol against ischaemia-reperfusion injury in rabbits.	岩佐 将充	循環病態学
131	J Cardiovasc Pharmacol.	Antidiabetic drug voglibose is protective against ischemia-reperfusion injury through glucagon-like peptide 1 receptors and the phosphoinositide 3-kinase-Akt-endothelial nitric oxide synthase pathway in rabbits.	岩佐 将充	循環病態学
132	Brain Research	Olfaxin as a novel Prune2 isoform predominantly expressed in olfactory system.	Shimo Li	神経生物
133	Spine (Phila Pa 1976)	Repair of pars defects by segmental transverse wiring for athletes with symptomatic spondylolysis: relationship between bony union and postoperative symptoms.	Hioki A	整形外科
134	J Arthroplasty.	Primary total hip arthroplasty with a spongy metal surface acetabular component for hip dysplasia.	Takigami I	整形外科
135	Curr Cancer Drug Targets.	Growth suppression and mitotic defect induced by JNJ-7706621, an inhibitor of cyclin-dependent kinases and aurora kinases.	Matsushashi A	整形外科
136	Br J Sports Med.	Hip pads reduce the overall risk of injuries in recreational snowboarders.	Ishimaru D	整形外科
137	Case Rep Orthop.	Intertrochanteric fracture of the ankylosed hip joint treated by a gamma nail: a case report.	Ishimaru D	整形外科
138	日本集中治療医学会雑誌	急性期からの高気圧酸素治療の併用が効果的であった深頸部膿瘍の一例	山田法顕, 熊田恵介, 中野通代, 白井邦博, 吉田省造, 水田啓介, 豊田泉, 小倉真治	高次救命治療センター
139	外科と代謝・栄養	ALI/ARDS症例に対するグルタミン強化経腸栄養の効果について	白井邦博, 吉田省造, 吉田隆浩, 加藤久晶, 名知祥, 井原頌, 豊田泉, 小倉真治	高次救命治療センター
140	日本救急医学会雑誌	腹膜炎で発症した化膿性脊椎炎の1例	加藤久晶, 山田法顕, 中野志保, 吉田省造, 白井邦博, 豊田泉, 小倉真治	高次救命治療センター
141	日本呼吸器療法医学会誌	人工呼吸器管理におけるシミュレーション教育の評価-アンケートを用いた検討	林 賢治, 杉原博子, 吉田省造, 山田法顕, 土井智章, 名知祥, 小倉真治	高次救命治療センター

小計
14件

142	日本救急医学会雑誌	Acute respiratory distress syndrome(ARDS) 合従した腸チフスの1例	北川順一, 吉田省造, 中島靖浩, 白井邦博, 豊田泉, 小倉真治, 村上哲雄	高次救命治療センター
143	Int J Mol Med	Structural property of soybean protein P34 and specific IgE response to recombinant P34 in patients with soybean allergy.	Morita H	小児病態学
144	J Allergy Clin Immunol	A rapid screening method to detect autosomal-dominant ectodermal dysplasia with immune deficiency syndrome.	Ohnishi H	小児病態学
145	Allergol Int	Hospitalizations associated with pandemic influenza A(H1N1)2009 in asthmatic children in Japan.	Katsunuma T	小児病態学
146	PloS One	TRAM Is Involved in IL-18 Signaling and Functions as a Sorting Adaptor for MyD88.	Ohnishi H	小児病態学
147	J Clin Immunol	Characterization of NLRP3 variants in Japanese cryopyrin-associated periodic syndrome patients.	Ohnishi H	小児病態学
148	World J Pediatr.	Sweet's syndrome in a neonate with non-B54 types of human leukocyte antigen.	Omoya K	小児病態学
149	JIMD reports	Three Japanese patients with beta-ketothiolase deficiency who share a mutation, c. 431A > C (H144P) in ACAT1: subtle abnormality in urinary organic acid analysis and blood acylcarnitine analysis using tandem mass spectrometry.	Fukao T	小児病態学
150	Mol Genet Metab	Bezafibrate can be a new treatment option for mitochondrial fatty acid oxidation disorder: evaluation by in vitro probe acylcarnitine assay.	Yamaguchi S	小児病態学
151	J Invest Allergol Clin Immunol	Risk factors for infantile atopic dermatitis and recurrent wheezing.	Kawamoto N	小児病態学
152	J Lipid Res	Defective lipid remodeling of GPI anchors in peroxisomal disorders, Zellweger syndrome and rhizomelic chondrodysplasia punctata.	Kanzawa N	小児病態学
153	Head Neck	Paclitaxel-based chemotherapy for aggressive kaposiform hemangioendothelioma of the temporomastoid region: Case report and review of the literature.	Funato M	小児病態学
154	Allergol Int	Repeated-Dose Pharmacokinetics of Inhaled Ciclesonide (CIC-HFA) in Japanese Children with Bronchial Asthma: A Phase I Study.	Teramoto T	小児病態学
155	J Clin Immunol	Autosomal-Dominant Chronic Mucocutaneous Candidiasis with STAT1-Mutation can be Complicated with Chronic Active Hepatitis and Hypothyroidism.	Hori T	小児病態学
156	Mol Immunol	Molecular analysis of the binding mode of Toll/interleukin-1 receptor (TIR) domain proteins during TLR2 signaling.	Noda M	小児病態学
157	Blood	Extensive gene deletions in Japanese patients with Diamond-Blackfan anemia.	Kuramitsu M	小児病態学
158	今日の移植	維持期におけるタクロリムス徐放性製剤への切り替えの有用性	土屋朋大	泌尿器科
159	泌尿器外科	膀胱CISに対する, 2nd line BCG株交替療法 of の検討	山田 徹	泌尿器科
160	泌尿器科紀要	膀胱より発生したSolitary fibrous tumorの1例	清家健作	泌尿器科
161	泌尿器外科	PSA再検にて4.0ng/ml以下に低下した患者における前立腺生検の意義に関する検討	清家健作	泌尿器科
162	Antimicrob Agents Chemother.	Management of pharyngeal gonorrhoea is crucial to prevent the emergence and spread of antibiotic-resistant <i>Neisseria gonorrhoeae</i> .	Deguchi T	泌尿器科

163	J Infect Chemother	Clinical and microbiological outcomes in treatment of men with non-gonococcal urethritis with a 100-mg twice-daily dose regimen of sitafloxacin.	Ito S	泌尿器科
164	Transplant Proc	Effect of conversion from twice-daily to once-daily tacrolimus on glucose intolerance in stable kidney transplant recipients.	Tsuchiya T	泌尿器科
165	Biochem Biophys Res Commun.	ETS1 promotes chemoresistance and invasion of paclitaxel-resistant, hormone-refractory PC3 prostate cancer cells by up-regulating MDR1 and MMP9 expression.	Kato T	泌尿器科
166	Int J Urol.	Prevalence of genital mycoplasmas and ureaplasmas in men younger than 40 years-of-age with acute epididymitis.	Ito S	泌尿器科
167	Int J Urol.	Inhibition of cortactin and SIRT1 expression attenuates migration and invasion of prostate cancer DU145 cells.	Nakane K	泌尿器科
168	Metabolism.	Associations of urinary 6-sulfatoxymelatonin with biomarkers related to cardiovascular disease in Japanese women.	Masue T	泌尿器科
169	Commun Dis Intell Q Rep	Surveillance of antibiotic resistance in <i>Neisseria gonorrhoeae</i> in the WHO Western Pacific and South East Asian Regions, 2010.	Lahra MM	泌尿器科
170	Cancer Sci	A new prognostic classification for overall survival in Asian patients with previously untreated metastatic renal cell carcinoma.	Shinohara N	泌尿器科
171	J Infect Chemother	Sensitivities of major causative organisms isolated from patients with acute uncomplicated cystitis against various antibacterial agents: results of subanalysis based on the presence of menopause.	Matsumoto T	泌尿器科
172	Int J Clin Pract.	Outcome measurement of extensive implementation of antimicrobial stewardship in patients receiving intravenous antibiotics in a Japanese university hospital.	Niwa T	泌尿器科

小計
10件
合計
172件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 岩間 亨	
管理担当者氏名	事務部長 倉坪弘一 総務課長 金永博行 経営企画課長 養島博徳 医事課長 伊藤文雄 医療支援課長 松村規義	看護部長 五島 光子 生体支援センター長 村上啓雄 放射線部長 兼松雅之 高次救命治療センター長 小倉真治 薬剤部長 伊藤善規

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院治療計画書		医事課 経営企画課 各診療科 放射線部 手術部 薬剤部 看護部	カルテは、患者ごとに、1カルテを作成し、診療記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、診療経過の要約と共に電子媒体で保存管理している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者を明らかにする帳簿	総務課		
	高度医療の提供の実績	医事課		
	高度医療技術の開発及び評価の実績	研究支援係(医学系研究科・医学部事務)		
	高度医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課 医療支援課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携センター		
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	生体支援センター	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室		
	当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の1第1項各号及び第9条の2第3第1項第1号に掲げる体制の確保状況		
	院内感染のための指針の策定状況	生体支援センター	
	院内感染のための委員会の開催状況	医療支援課	
	従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	生体支援センター	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	生体支援センター	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理室 医療支援課	
	従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理室 医療支援課	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理室 医療支援課	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理室 医療支援課		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療の提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 倉坪弘一
閲覧担当者氏名	総務課長 金永 博行 経営企画課長 菱島 博徳 医事課長 伊藤 文雄 医療支援課長 松村 規義
閲覧の求めに応じる場所	医学部附属病院事務室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療の提供の実績

紹介率	76.5%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数	11,458人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,124人	
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,315人	
	D : 初診の患者の数	19,177人	

(注) 1 「紹介率」欄はA、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dはそれぞれの延べ数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容 <input type="checkbox"/> 医療に係る安全管理の委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項 <input type="checkbox"/> 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本的事項 <input type="checkbox"/> 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善に関する基本方針 <input type="checkbox"/> 医療事故(過誤)、重大事象発生時の対応に関する基本方針 <input type="checkbox"/> 行動制限防止のための指針 <input type="checkbox"/> 患者に係る当該指針の閲覧に関する基本方針 <input type="checkbox"/> その他医療安全の推進のための基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容 「医療安全管理委員会」 <input type="checkbox"/> インシデントレポート分析、防止(改善)策に関すること <input type="checkbox"/> 医療事故防止対策の検討及び推進に関すること <input type="checkbox"/> 医療事故防止対策に関する職員研修の企画に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 27 回
・研修の主な内容 <input type="checkbox"/> 第1回医療安全・感染対策合同研修会 感染対策「感染症WEBシステムの活用方法」:生体支援センター 鈴木 智之 「院内コンフリクトマネジメントと医療メディエーションについて」:医療支援課 医療メディエーター 松波 登志子 医療安全管理「最近の事例から」:医療安全管理室副室長 熊田 恵介 <input type="checkbox"/> 第2回医療安全・感染対策合同研修会 医療安全「糖尿病治療薬に関連したインシデント事例に学ぶ」:内分泌代謝病態学 講師 橋本 健一 医療安全「糖尿病治療薬の安全使用について」:薬剤部 副薬剤部長 岡安 伸二 感染対策「国公立大学感染対策協議会 相互チェック結果報告」:生体支援センター 土屋麻由美 <input type="checkbox"/> 輸液ポンプ、シリンジポンプ研修会(院内インストラクター・テルモ社員) <input type="checkbox"/> 人工呼吸器管理研修会(呼吸療法チームメンバー) (3回) <input type="checkbox"/> 新採用・中途採用職員研修(研修医・医師・看護師・技師など)(6回) <input type="checkbox"/> 部署別急変時対応等研修(15回)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 ・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 <input type="checkbox"/> 院内救急コールシステムの見直し <input type="checkbox"/> 病棟における内服薬管理マニュアルの作成(看護部と共同) <input type="checkbox"/> 「医療事故報告時の報告に関する取扱要項」の改定 <input type="checkbox"/> 高次救命治療センターにおける使用薬剤の組成の統一化 <input type="checkbox"/> 中心静脈カテーテル挿入についての検討	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(6名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・所属職員: 専任(3)名 兼任(8)名 (安全管理) ・所属職員: 専任(6)名 兼任(11)名 (院内感染対策) ・活動の主な内容 <input type="checkbox"/> 医療安全に係る啓蒙及び広報に関すること <input type="checkbox"/> 医療の安全確保のため、医療現場との連絡調整に関すること <input type="checkbox"/> 医療の安全確保に係る職員研修の企画立案に関すること <input type="checkbox"/> インシデントに関する情報の収集及び分析、関係資料作成に関すること <input type="checkbox"/> 医療事故再発防止対策等の立案と周知徹底並びに改善に関すること <input type="checkbox"/> 微生物の検出状況の把握、分析およびアウトブレイクの早期発見と対応 <input type="checkbox"/> 感染症、感染対策全般のコンサルテーション	

- 抗菌薬の適正使用の推進
- ガイドライン・マニュアルの作成や改訂
- 感染防止対策の周知徹底;マニュアルの遵守状況の把握と指導
- 針刺し・切創および皮膚・粘膜暴露対応
- 各種ワクチンプログラムの実施
- 職員教育;研修の企画および実施

⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

有 無

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>指針の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病院感染対策に関する基本的な考え方 ○病院感染対策の組織 ○職員教育・研修に関する基本方針 ○感染症発生状況の報告に関する基本方針 ○病院感染発生時の対応に関する基本指針 ○患者への情報提供と説明 ○病院における院内感染対策の推進 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 17 回
<p>活動の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病院感染の発生状況、抗菌薬の使用状況について ○病院感染対策の検討および推進に関すること ○病院感染対策に係る職員研修の企画に関すること ○病院感染対策に係る啓蒙及び広報に関すること ○病院感染発生時の医療現場との連絡調整に関すること 	
③ 従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	年 16 回
<p>研修の主な内容</p> <p>1) 生体支援センターセミナー(全職員対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○抗菌薬の適正使用について:生体支援センターセンター長 村上啓雄, 生体支援センターICT支援メンバー 丹羽 隆 ○HIV感染症について:生体支援センター(エイズ対策推進センター)副センター長 渡邊珠代 ○先進医療の存在を脅かす薬剤耐性菌について:東海大学医学部基礎医学系生体防御学教授 藤本修平 ○エビデンスに基づいたSSI(手術部位感染)予防策:生体支援センターICT支援メンバー 名和 正人 <p>2) 医療安全・感染対策合同研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1回 <ul style="list-style-type: none"> 感染対策「感染症WEBシステムの活用方法」:生体支援センター 鈴木 智之 「院内コンフリクトマネジメントと医療メディエーションについて」:医療支援課 医療メディエーター 松波 登志子 医療安全管理「最近の事例から」:医療安全管理室副室長 熊田 恵介 ○第2回 <ul style="list-style-type: none"> 医療安全「糖尿病治療薬に関連したインシデント事例に学ぶ」:内分泌代謝病態学 講師 橋本 健一 医療安全「糖尿病治療薬の安全使用について」:薬剤部 副薬剤部長 岡安 伸二 感染対策「国公立大学感染対策協議会 相互チェック結果報告」:生体支援センター 土屋麻由美 <p>3) 新入職員研修(全新入職員対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病院感染対策の基本:生体支援センター村上啓雄、渡邊珠代 ○技術研修(3日) <p>4) 看護師研修(全看護師対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○尿道留置カテーテル関連尿路感染の感染対策:ICN 深尾亜由美 ○人工呼吸器関連肺炎の感染対策:ICN 深尾亜由美 ○中心静脈カテーテル関連血流感染の感染対策:ICN 深尾亜由美 <p>5) 看護師研修(リーダー看護師対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「感染管理コース」(7時間×2回):ICN 深尾亜由美、土屋麻由美、垣見克紀、山本昌代 医師:田中香お里 <p>6) 看護助手研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病院感染対策の基本:生体支援センター土屋麻由美 <p>7) 外部委託業者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療関連感染における環境からの伝播の可能性と環境対策:生体支援センター土屋麻由美 <p>8) 中途採用者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病院感染対策の基本(5回):生体支援センター村上啓雄、渡邊珠代 <p>9) ボランティア研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病院感染対策の基本について:生体支援センター 土屋麻由美 	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況

・病院における発生状況の報告等の整備 有 無

○感染症管理システムによるサーベイランス

○各種会議(医局長等会議、科長会、院内感染対策専門委員会等)での報告

・その他の改善のための方策の主な内容

○感染防止推進月間の実施(院内ラウンド、自己チェック)

○抗菌薬の適正使用のための薬剤師による抗菌薬投与患者の評価および介入

○手指衛生遵守向上に関する取り組み(速乾性擦式消毒剤の使用量のモニタリング等)

○アウトブレイクが疑われた場合は、各部署へ情報提供及び指導の徹底

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 ・活動の主な内容 平成24年4月2日 新規採用者研修 平成25年1月21日-1月28日 医療安全感染対策研修会	年 2 回
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 ・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・業務の主な内容 業務手順書は電子カルテのオンラインマニュアル上に掲載し、常に業務手順が確認できるようにしている。また、必要に応じて随時改訂を行っており、平成24年8月20日および平成25年7月23日に実施した。さらに、業務手順書に準拠したチェックリストを作成し、年2回(1月, 6月)院内全部署を対象として業務の実施状況を評価している。業務手順書が遵守できていない業務が認められれば、業務の見直し、改善を行っている。	年 2 回
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 ・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 厚生労働省、医薬品メーカー、インターネット(医薬品医療機器総合機構等)を介して、常に最新の医薬品情報を入手している。また、収集した情報を吟味および加工して院内の職員に対して情報(DIニュース等)を配信している。さらに、病棟担当薬剤師が医師や看護師といった病棟スタッフに対して直接情報提供を行っている。その他に、院内で発生したアクシデント、インシデント、ヒヤリハットなどの報告に基づいて医療安全マニュアルや業務手順書等の院内マニュアルの改訂を行っている。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 ・活動の主な内容 <input type="checkbox"/> 医療ガスの安全使用について <input type="checkbox"/> 除細動器、AED <input type="checkbox"/> 輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱い方法について(新採用者対象) <input type="checkbox"/> 新規購入医療機器(21回) <input type="checkbox"/> 保育器 <input type="checkbox"/> 人工呼吸器(2回) <input type="checkbox"/> 放射線機器 <input type="checkbox"/> 血液浄化機器(2回) <input type="checkbox"/> 高エネルギー放射線発生装置(2回)	年 回
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 ・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・保守点検の主な内容 <input type="checkbox"/> 人工呼吸器、人工心肺装置、除細動装置、十二誘導心電計、血液浄化装置、輸液ポンプ、シリンジポンプ、超音波ネブライザーは使用毎の保守点検を医療機器センターで実施 <input type="checkbox"/> 血液浄化部の多人数用血液透析装置は2年に1度業者による点検実施 <input type="checkbox"/> 放射線装置は期限毎に業者と保守点検の契約を結び実施(機器により、半年から2年毎)	年 回
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 ・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 <input type="checkbox"/> 人工呼吸器について…医療機器センター技士による人工呼吸器管理中患者のラウンドを週2回実施 呼吸療法支援チームの活動として、病棟の人工呼吸器管理患者のラウンドを週2回実施 会議では、人工呼吸器関連のインシデント報告や情報を検討し院内に周知 <input type="checkbox"/> 医療機器安全管理組織の編成	